

教え方を
変えると
理解される

教え方3原則

人が育つ、
職場が
明るくなる

1

具体的



2

簡潔



3

分かりやすく



この3つを意識すると、教えることも、教わることもスムーズに進みます。

① 具体的とは——

抽象的な表現ではなく
具体的に伝えることが、
理解と行動につながります。



聞いて分かる

言葉で説明して、
理解できる。



見て分かる

手本を見せる。
写真、イラスト、図、漫画、
動画など視覚情報で
理解できる。



数字で分かる

数字を使って、
理解できる。



この3つのうちの どれかに当てはまっているかを確認しましょう。

聞いて分かるとは

抽象的な表現ではなく、
具体的に伝えることが、
理解と行動につながります。



聞いて分かるとは

言葉で説明して、
相手がイメージでき、理解できることです。

一文の例

使う前より美しく



使った場所を、
使う前よりきれいにする
ことがイメージできます。

次の電車をお待ちください



目の前の電車に駆け込まず、
次に来る電車を待つことが
イメージできます。

《きちんと挨拶する》の変換例

歓迎の表情で、お客様の目を見て、
お客様に聞こえる大きさの声で、
その時にふさわしい挨拶の言葉をかける。



どのように挨拶すればよいのか、
行動のしかたが具体的にイメージできます。



相手にしてほしい行動を **肯定形の表現** にするのがコツです。



見て分かるとは

手本を見せる。
写真、イラスト、図、漫画、動画など
視覚情報を活用して教える。

こんな方法で「見て分かる」

1 手本を見せる



実際にやって見せることで、
動きや手順がよく分かります。

2 写真で見せる

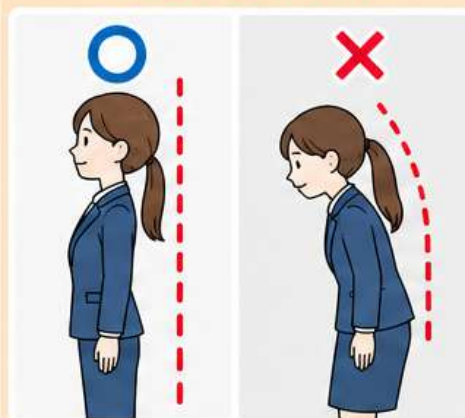
身だしなみの例



良い例・悪い例を写真で
見比べることで、
具体的にイメージできます。

3 図・イラストで見せる

正しい姿勢の例



イラストや図で示すことで、
正しい姿勢や動きがひと目で
分かります。

4 動画・漫画で見せる



動画や漫画を使うことで、
場面の流れやポイントが
具体的に分かります。



視覚情報を活用することで、正しく理解でき、行動につながります。

数字で分かるとは

数字を使って伝えることで、
確実に実践できます。

こんな方法で「数字で分かる」

例1 「しっかり確認する」の変換例

✓ 3回確認する。



✓ 2名で、それぞれ
2回確認する。



✓ ○時と○時に
担当者が確認する。



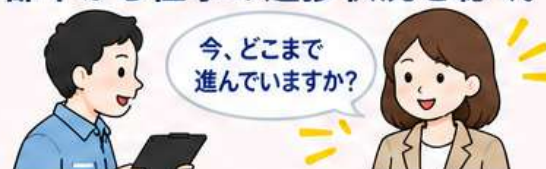
10時 担当:山田
15時 担当:佐藤

例2 「部下と良好なコミュニケーションをとる」の変換例

✓ 毎朝1、2分、雑談をして、
部下の様子を知る。



✓ 1日少なくとも5分、
部下から仕事の進捗状況を聴く。



✓ ひと月に1回、30分程度の
面談時間を設ける。



例3 その他の例

✓ 少なくとも2回、
お客様の名前を呼ぶ。



✓ ○○の注文は、
10分以内に提供する。



✓ ○○は、20分後に
経過を見る。



数字を使って伝えることで、正しく理解でき、行動につながります。